

こっこめ通信 04 2020

「島の春をお届け」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

世界で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症。感染拡大防止のため、八丈ビジターセンターも3月2日から4月12日までは利用休止になっております。(さらに延長の場合有り) 来館予定だったお客様にはご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

また、春の風物詩「フリージアまつり」も中止になっていますが、フリージア畑の鑑賞や撮影は可能ですよ！
そこで今月は「島の春をお届け」と題して、いろいろなフリージアの品種を紹介します。

フリージア今昔物語

フリージアまつりが初めて開催されたのは昭和42年の事でした。当時は島中いたるところにフリージア畑があり、島中がフリージアの香りでいっぱいになるほどだったそうです。(スタッフ T.K. 談)

今は、八丈富士の麓にフリージアまつり会場となるフリージア畑があり、毎年35万本もの色とりどりフリージアが咲き乱れます。ここでは今年のフリージア畑で咲き競っているフリージアたちをご紹介します。



【アヌーク】



【アラジン】



【エレガンス】



【オリオン】



【サンドラ】



【スカーレット】



【スピーディスノー】



【ピンクパッション】



【ブルーシー】



【ブルームーン】



【ポルトサルト】



【ルシャトー】

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科(旧ツグミ科)の鳥で、国の天然記念物に指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

今は昔のフリージア

八丈島でフリージア栽培が始まったのは大正中期頃と言われています。当時は切花としてではなく、球根栽培が目的でした。その後、第二次世界大戦が始まると、八丈島にはたくさんの兵隊さんが常駐するようになりました。戦局が厳しくなると食べ物以外の作物を作る事は許されず、食べ物以外の作物はすべて焼き払われてしまいました。特産だったヤシ類やフリージアも例外にもれず、すべて焼き払われてしまいました。

しかし、フリージアの球根を隠し持っていた島民が中心となり、戦後すぐに栽培を開始して新しい品種を作しました。さらに栽培技術の研究が進み、昭和30年代には全国でも主要なフリージア球根生産地としての地位を確立していきました。

浅沼次作氏が戦後すぐに作り出した「紅輝」や「富士の峯」は遺伝子学的に見てとても珍しいものだったようです。他の育種家の活躍も目覚しく、いくつもの品種が生まれました。こうして、島のフリージアは全盛期を迎えました。ここでは、そんな成長著しい頃、八丈島に導入された品種をご紹介します。



【アルバ】
フリージア導入当初



【バターカップ】
フリージア導入当初



【マリー・ホワイト】
昭和20年代後半



【チェリー】
昭和29年



【ライオンベルトゴールデンイエロー】
昭和31年



【シセン】
昭和32年



【ローズマリー】
昭和40年



【オーロラ】
昭和42年



【ゴールデン・メロディー】
昭和46年



【アテネ】
昭和54年



【オベロン】
昭和62年



【エレガンス】
昭和63年

いかがでしたか？こうして年代別に見てみると、導入当初から戦後間もない頃の品種に比べると、最近では花が大輪になり、花びらの縁がより丸みを帯びてきているように見えますね。花も八重咲きのものも多くなり、見かけもずっと立つグラジオラスのようになり、ゴージャスになってきたように思います。

そんな事を心に留め鑑賞すると、今までとは見方が違ってくるかもしれませんね。 (M.K.)

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きものを観察して季節を感じてもらう目的で「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。季節の変化を感じられる植物は全て記録し、野鳥や昆虫の様子も観察しています。前回3月8日はビジターセンターが利用休止中のためスタッフだけで行いました。

八丈植物公園季節調査（2020年第3回）参加者：VCスタッフ 菊池、木下、奥山

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			32	ハチジョウアザミ	花と実	シダ植物		
1	アオノクマタケラン	実が残る	33	ハチジョウテンナンショウ	花	1	アマクサシダ	
2	アキノノゲシ	実	34	ハナイバナ	花	2	イシカグマ	
3	アツバスマシ	花	35	ハハコグサ	花	3	ウチワゴケ	
4	イヌガラシ	花と実	36	ハルジオン	花	4	オオイタチシダ	
5	ウスベニニガナ	花	37	ヒメコバンソウ	花	5	オニヤブソテツ	
6	ウラシマソウ	花	38	フウトウカズラ	実	6	カニクサ	
7	オオアレチノギク	花	39	ヘビイチゴ	実	7	タチクラマゴケ	紅葉と新葉
8	オオイヌノフグリ	花	40	ムニンキケマン	花	8	タチシノブ	
9	オオシマカンスゲ	実	41	ムラサキカタバミ	花	9	タマシダ	
10	オオバコ	蕾	木本			10	ナチシゲシダ	新葉
11	オニタビラコ	花と実	1	アオキ	実と花	11	ナチシダ	小株
12	オランダミミナグサ	花	2	アカメガシワ	新葉	12	ナンカイイタチシダ	
13	カスマグサ	花	3	オオシマザクラ	咲き始め	13	ノキシノブ	新葉
14	カタバミ	花と実	4	オオバヤシャブシ	花	14	ハカタシダ	
15	キランソウ	花	5	オオムラサキシキブ	熟した実	15	ハチジョウカナワラビ	
16	ケキツネノボタン	蕾	6	カジイチゴ	花	16	ハチジョウシダ	
17	コケリンドウ	蕾	7	コハクサンボク	蕾	17	ハチジョウベニシダ	
18	コシロノセンダングサ	花と実	8	サカキカズラ	蕾	18	ハマハナヤスリ	
19	コナスビ	花	9	シマモクセイ	若い実	19	ヒトツバ	新葉
20	コハコベ	花と実	10	タイミンタチバナ	実と花	20	ヘラシダ	
21	シチトウスミレ	花	11	タブノキ	蕾	21	ホシダ	
22	スズメノカタビラ	花	12	テイカカズラ	種子が飛ぶ	22	ホラシノブ	
23	スズメノヤリ	花	13	トベラ	実が残る	23	マツバラソ	
24	セイヨウタンポポ	花	14	ハチジョウキブシ	咲き始め	24	マメツタ	
25	タネツケバナ	花と実	15	ヒサカキ	花	25	ミゾシダ	
26	ツメクサ	花と実	16	ヒノキバヤドリギ	実	26	ヤマイタチシダ	
27	ツワブキ	実	17	ホルトノキ	実が残る	今回はシダ植物 26 種を含む 88 種の植物を観察しました。サクラに先駆けて咲く樹木の花が咲き始め、春の草花も目立ちました。ウグイスやキジバトもさえずっていました。		
28	テリミノイヌホオズキ	実	18	モチノキ	花			
29	トキワハゼ	花	19	ヤツデ	実が黒熟			
30	ノジスミレの仲間	花	20	ヤブツバキ	花			
31	ハキダメギク	花	21	ヤマモモ	花			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、最近八丈島で初めて記録された「モエジマシダ」にスポットを当ててみたいと思います。



モエジマシダ *Pteris vittata*

イノモトソウ科の常緑シダ植物。

紀伊半島から四国、九州、沖縄に分布する南方系の植物ですが、近年その分布域を広げつつあるようです。

八丈島では最近まで知られていませんでしたが、つい先日大賀郷地区の都道脇にある墓所の石垣で発見されました。

以前から存在していたものがこれまで気がつかれなかったのか、最近になって他の地域から入ってきたものか、個人的には後者のような気がしていますが、どうなのでしょう？

(T.K.)

2020 八丈ビジターセンター 4 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります			● 1	2	3	清明 4 ガイドウォーク
5 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	6	7	○ 8	9	10	11 ガイドウォーク
12 ガイドウォーク	13	14	● 15	16	17	18 ガイドウォーク
穀雨 19 ガイドウォーク	20	21	22	● 23	24	25 ガイドウォーク 八文学講座 「さえずりを聞き分けよう」
26 ガイドウォーク	27	28	29 ガイドウォーク 八丈富士ハイキング	30		

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化と一緒に感じましょう！
4/12 (13:30～15:00) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名
~~新型コロナウイルスの感染拡大を
防止するため中止となりました~~

八文学講座 「さえずりを聞き分けよう」

毎月行っている八文学講座。今月は野鳥のさえずりに注目した自然体験です。
4/25 (13:30～15:00) 中学生以上
和泉親水公園駐車場 集合・解散 参加費：50円 定員：15名

中止の可能性あり

八丈富士ハイキング

毎年恒例の八丈富士登山。今月は八丈郷の金土川地区を歩きます。
4/29 (9:30～15:00) 小学生以上 (小学生は保護者同伴)
鉢巻き道路登山口 集合・解散 参加費：50円 定員：20名

中止の可能性あり

植物公園ガイドウォーク

解説員が植物公園内をご案内します。
毎週 土日及び祝日 (10:30～約1時間) だれでも参加できます。
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

4月12日まで中止
その後は未定

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2020.4.1 第227号

開館時間 9:00～16:45 4月12日まで利用休止中
〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

ビジターセンターと植物公園の温室は利用休止となっています。一日も早く皆様が日常を取り戻すことができますように。(T.K.)